

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 平成31年 4月 19日(金)

2、開催場所 燕市大曲 燕三条エフエム放送 会議室

3、委員の出席

・委員総数 …… 8

・出席委員数 …… 6

・出席委員の氏名…上村 浩昭委員長、田邊とも子委員、遠藤 愛子委員、
瀬戸明委員、久保大輔委員(神田晃委員代理)、坂内紀美子委員

・欠席委員の氏名…市島清貴委員、本間幸美子委員

・放送事業者側出席者…阿部代表取締役社長、阿部局長、本間取締役

・放送事業者側欠席者…高井唯行

4、委員長挨拶 上村委員長

今年度1回目の番組審議委員会にお集まりいただきありがとうございます。

JR 東日本をご利用いただきありがとうございます。私共としては3月30日をもって「びゅうプラザ 燕三条」が閉店となり、今まで番組表に掲載いただいていたのですが、新しい番組表を見たらやっぱり掲載されていないなど少し寂しい気持ちになりました。跡地には今すぐに何か入ることではないのですが、計画の見通しが立てば早急にお話したいと考えています。

またダイヤ改正が先月ありましたが、上越新幹線に「E7系」の車両が入りました。これまでは他の路線で使用されていたお古が来ていたのですが、今回は新車を投入することになりました。今後は「MAX」の老朽化による取り換えが行われる中で、すべて「E7系」になる予定です。更にグランクラスが付いており、ファーストクラス並みの設備となりますので、1度はお乗りになっていただくと嬉しく思います。

その他、今回のGWは10連休になるということでJRでは、スタンプラリーを行います。最終目的地は燕三条駅なので、いくつかの新幹線の駅でスタンプを押してゴールである燕三条駅に来られると何かいいことがあります。

それでは本日もよろしく願いいたします。

5、事業者側経過報告 阿部代表取締役社長

今日もお忙しい中、弊社の番組審議会にお集まりいただきありがとうございます。新年度を迎えてラジオ局的には忙しい日々を過ごしています。この4月からは前年度の番組構成を引き継いでいますが、番組によって担当パーソナリティーを変えるなどして変化を持たせています。今後は観光を絡めた番組として、新潟経営大学と連携して進めたいと思っています。

インフラ関係の話になりますが、現在はネットを介して中継をしており、ネット回線が使えないときの対処として、ラジオマイクという専用の電波を飛ばして、他に干渉されないような中継システムを

導入しようと考えています。

これまでのアンケート調査などから旧三条市・旧燕市では以前からの告知もあって知られているのですが、旧栄町・旧下田村・旧吉田町・旧分水町の一部では大崎山からの電波でも難聴地域があり、ネットやスマホのアプリでラジオを聞くことが出来るような対策も検討しております。動きがありましたらご報告させていただきますので、ご協力いただければ幸いです。

本日もよろしくお祈りします。

6、議題内容

(1)「まちの作り手編集部」(水曜14時30分～14時45分)について

4月10日(水)放送分

(2)次回の番組審議委員会の日程について

～番組試聴～

(1)「まちの作り手編集部」

上村 委員長:ゲストの人間性についてのお話になるのかと思いましたが、ゲストの詳しい紹介がなく番組に入った印象があります。ゲストの肩書きについても説明がなかったので、自己紹介をしてもらいか聞き出すか決めた方が、聞き手側により話が入ってくるように感じました。内容も人間性の話なのか、行っている事業の話なのかよくわからずメリハリが無いように思いました。

瀬戸 委員:ほとんど駅長がおっしゃられたのですが、可能であれば今回のテーマの「足」から燕三条地域を健康にしているなど、テーマと街づくりを絡めた番組構成だと番組タイトルに沿ってわかりやすいと思いました。それと事前打ち合わせで着地点を決めるとより話しやすくなるのではないかと感じました。

田邊 委員:漠然と聞いていて感じたのは、若いパーソナリティーだと思うのですが、落ち着いた口調で聞きやすいです。若者らしい話の入り方なのかと思いましたが、年齢問わず皆さんのリスナーさんが聞いていますので、やはりメリハリが必要かなと感じます。

坂内 委員:まず番組のタイトルを聞いて思ったことが、地域の話なのか、街づくりの話なのか、ものづくりの話なのかわかりませんでした。今回の放送は起業した方のお話で、リスナー側としてタイトルを聞いてイメージを掴むと思うのですが、今回はそうではないということで、最初に説明するなどして対応した方がよいと思いました。ですが、良い意味で素人感が出ていて親しみが沸きました。

久保 委員:燕三条青年会議所の久保と申します。今回は理事長の神田に代わり出席させていただきました。番組内容に関しては、なぜ今回のゲストをお呼びになったのかなどの番組入り口がしっかりあると、より伝わりやすいと感じました。ただ聞かれている質問や内容についてはわかりやすくして良いと思います。

遠藤 委員:新潟県のイントネーションで話されていて、年配の方にも優しい放送で親近感が沸きました。注文を付けるなら、皆さんもおっしゃられたようにメリハリがあると、より良くなるのではないかと思います。

阿部 局長:起業したばかりの人だけをゲストに迎えるということではなかったのですが、タイトルは「まちの作り手編集部」ですが、様々な視点から捉えていただけるようにそのようなタイトルにしています。

(2) 次回の番組審議委員会の日程について
6月13日(木曜)13時30分予定。

8、その他・意見交換等
特になし。

閉会

9、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容及び年月日
自社放送 平成31年4月10日(木)
書類のエントランスホールへの備置き 令和元年5月15日(水)
自社HP上に記載 令和年5月15日(水)

10、その他、参考となる事項
特になし